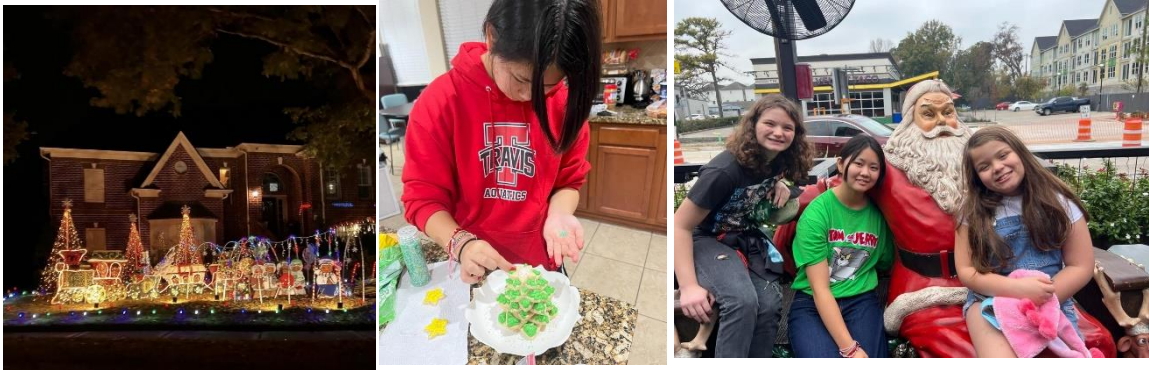


米国留学レポート（４）

1年次在籍
市原 柳奈子

アメリカでの生活が始まり、5か月がたち、こちらでの残りの生活が半分となりました。最近ではクリスマス、ニューイヤーを過ごすなど、アメリカならではのことをたくさん経験しました。

ハロウィンが終わった瞬間からクリスマスという、日本とは違う周りの人のクリスマスに対するやる気の大きさを感じさせられました。学校や近所のクリスマスの飾り付けが印象的です。わざわざイルミネーションのイベントに行かなくても、周りの家の飾り付けだけで十分に楽しめてしまうくらい豪華なことが多いです。



左：近所の様子 中：クリスマスツリーを模したクッキー飾り 右：町の様子

※12月でも暖かい日はTシャツ一枚で過ごせました。

12月に入り、クリスマスが近づいてくると、クリスマスのプレゼントのためや飾りのためのショッピングによく行きました。また、親せきで集まってご飯を食べたり、プレゼントを交換し合ったり、イルミネーションなども見に行きました。家族とのクリスマスを過ごす中、友達とのパーティーも楽しむなど、様々なことをし、今までで最高のクリスマスを過ごしました。



左：親戚との食事のひとコマ

右：暖炉にクリスマスプレゼント

残りの滞在期間が半分となる中、留学の前半を振り返って、とても良い経験をしていると感じています。難しいことはありますが、色々なことに挑戦することができ、勉強やクラブ活動でも自分にできることをして努力できていると思っています。家族といろいろな所へ出かけ、アメリカならではのたくさんのことを、彼らが教えてくれるおかげで慣れないことにも随分慣れることができました。

残りの留学期間で頑張りたいことは、人とのコミュニケーションを今まで以上にとることです。コミュニケーションをとることで英語力が向上していると感じているのですが、まだ一定の人としか話すことがないので、自分から話しかけるということをもっと大切にしていきたいと思っています。授業中での話し合いに積極的に参加することや、今までは誰かが話すまで待つことが多かったので、自分が思ったことがあれば話すということ頑張ります。周囲の人とのコミュニケーションとともに今難しいと感じているアメリカ史の授業の克服もできるようにしたいと考えています。また、家族の中での会話も多くしたり、家の手伝いをしたりしていきたいと思っています。



左：ヒューストン動物園での一コマ 右：野球場でのイルミネーションイベント



クリスマスには、家族が皆同じ格好をして過ごしました。